

トヨ子通信

2014年7月号

ホームページ...http://www.sasada-toyoko.jp/
Eメール.....sanbai@sasada-toyoko.jp

笹田トヨ子の6月議会一般質問

介護保険制度の改悪で第6期事業計画はどうなるか

要支援の予防給付外し、要介護1・2特養受け入れ拒否、一定所得者利用料2割負担

今国会に提出されていた「医療・介護総合法案」は十分審議されないまま、16日自民・公明賛成多数で強行成立しました。その結果、要支援1・2の訪問介護と通所介護は予防給付から自治体が運営する「地域支援事業」に移行することになりました。一般質問で私は、大垣市の地域支援事業に移行した場合、今までと同じ質・量の介護サービスが受けられるのか質問しましたが、答えは、「まだガイドラインが出ていないのでわからない」というものでした。

その他、介護1・2の人は特養ホームに入所できません。また所得160万円以上の世帯は利用料が2割負担となり、所得が無くても一定の預貯金があれば、食費や居住費の補足給付は受けられません。来年4月からはじまる第6期介護保険事業計画の策定に入りますが、介護保険制度の改悪で、利用者の負担は増えないか、今まで通りの介護サービスが受けられるのか、介護保険料はどうなるのか等など、心配されるどころです。

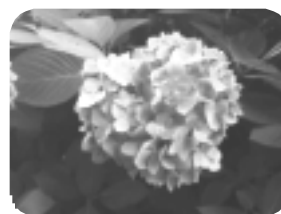
「地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書」

消費税増税が前提で、賛成できません！

上記意見書は市議会公明党から提出されたものです。私は反対しましたが賛成多数で、採択されました。

反対理由は、「社会保障・税一体改革の円滑な進行のため」と消費税の増税を前提とし、介護保険制度の改悪や診療報酬の改定を今国会で強行成立させて、国民負担を押しつける一方で「積極的な支援を要望する」といっても、ポーズとしか受け取れません。また、意見書には「平成26年度に引き続き消費税を財源とする財政支援制度を拡充すること」と要望して、10%消費税増税を求めています。

今回の8%消費税増税について、政府は「消費税増収分全てを社会保障に使い、社会保障を拡充する」というような宣伝を行いましたが、実は社会保障費の財源構成を入れ替えただけで社会保障費が増えることにはなっていません。結果的に消費税増収分は、法人税の減税と大型公共事業や軍事費増に回りました。社会保障の財源という名目で消費税増税を行い、更に10%を前提とした「支援を求める意見書」には賛成することは出来ません。



介護保険制度改悪・集团的自衛権行使容認 安倍内閣の暴走ストップ



会期末、法案の強行成立に抗議するとともに、自衛隊を海外に出して戦争できるように集团的自衛権の行使容認を閣議決定で決めてしまう安倍内閣の暴走にストップをと、街頭宣伝で訴えました。

議会セクシャルハラスメント発言に対して抗議の申し入れ

24日、都議会本会議での人権侵害のヤジが飛んだ問題で、私(笹田)と粥川議員は大垣市議会女性議員有志一同として「女性蔑視のセクシャルハラスメントで、人権侵害である」と批判し、「発言した議員は全員、速やかに名乗り出て、謝罪されることを切望する」と申入書を東京都議会議長に郵送しました。

国民の立場で真実を伝え続ける赤旗新聞をお読みください。
日刊紙...3497円 日曜版... 823円

部内資料

<笹田区域>
興文中・西中・西部中
(宇留生小を除く)
上石津全域



議会報告会のお知らせ

日時：7月13日(日)13時30分～
場所：市民会館別館
笹田トヨ子の報告内容：介護保険制度の改悪で大垣市の介護事業はどうなるか？

グリーン車料金裁判

6月号で次回期日7月10日とお知らせしましたが、裁判所の都合で延期となりました。

八法亭みややっこの憲法噺

日時：7月21日(祝)
午後1時30分開場
ところ：大垣市総合福祉会館5階ホール
主催：日本共産党大垣市後援会

問合せ：
0584-78-6865



「憲法噺」の落語で今や超売れっ子の「八法亭みややっこ」こと飯田美弥子さんは環境問題や労働事件に携わる八王子合同法律事務所の弁護士さん。自由法曹団の5月集会で「是非大垣にも来てください」と無理なお願いをして、7月21日の高座実現となりました。「憲法の由来、大切さを楽しみ語り、自民党改憲案を痛快に切る」憲法落語、是非皆さんのご来場をお待ちしています。
笹田トヨ子

定数削減が議会改革？

市議会自民クラブは、議員定数を24から22に減らす条例改正案を9月議会に提案する方針を議会運営委員会に提案しました。

上石津・墨俣との合併後、前回選挙から定数が24議席に改められたばかりで、続けて2議席を削減するなど、良識が疑われます。



理解できない提案理由

3月・6月議会の会期末の議会運営委員会での自民クラブの説明によれば、定数削減は議会改革の1丁目一番地であり、よりすぐれた議員が選ばれ、多様化する市民の声に応える必要がある、逼迫した市の財政にもいっそう貢献できる、としています。

グリーン車料金問題でめばえた議会改革

市議会では、平成24年度より議会改革一点で統一会派が結成され、グリーン車料金問題を契機に住民監査請求など住民参加型の市政になってきました。しかし、自民クラブの中には、この動きに同調せず、かえって「それならばグリー

ン車に乗ればいいでしょう」という態度で、その後の視察にはグリーン車を利用する議員もいました。

グリーン車を利用しなくてもそれほど疲れることもなく確実に席が確保できる今日、それを見直すこともしないで定数削減などをいきなり持ち出すなど、議会改革という資格があると思えません。

市民の声を届ける議会での討論こそ議会改革の本道

「民主おおがき」6月号でも掲載されたように、議会は、広がった大垣市の全域の市民の声をしっかりつかんで行政に届ける役割を持っています。

そのためには一定数の議員が必要になります。議員は多様な資質を生かして、絶え間なく市政のあり方を研究する必要もあります。

低調な議会一般質問 発言回数少ない議員

6月の市議会の一般質問は一日だけ行われ、発言者は11人でした。自民クラブの議員の一般質問は2人ととどまります。

国会は総理大臣が最大会派から選ばれ、与党としての政策を内閣が実現していきますが、地方議会(大垣市)では、首長(市長)は独自に選挙で選ばれ、最大会派から選ばれているわけではありません。したがって、最大会派が国の与党のように安住してくれては、市民が困ります。

大垣市の議員定数は他自治体より少ない

別表は、人口が15万人以上17万人未満と、大垣市と人口が似ている市の議員定数と議会での質問日数・質問者数を調査したものです。

地方自治法ではこの規模の議員定数を34人としていましたが、今では自治体独自に定数が決められるようになっていきます。しかし、地方自治法の趣旨を汲んで今もそのままの定数の自治体もあり、平均の議員定数は28人です。大垣市は決して多くありません。他の自治体より逼迫した財政だということならば、それを市民に丁寧に説明すべきです。

議員の発言も多く 改革に努力する議会

また、他の自治体議会での議員の発言数は、平均して64%におよびます。病気ででもなければ、必ず質問に立つ慣習だと思われる自治体もあります。

平成26年度6月議会一般質問日数・質問者数一覧

No.	都道府県	市名	2010人口	議員定数	質問日数	質問者数	代表質問
1	宮崎	都城	169602	34	6	28	
2	静岡	磐田	168625	26	2	11	
3	北海道	帯広	168057	32	4	17	○
4	三重	松阪	168017	28	3	18	
5	愛媛	今治	166532	34	2	11	○
6	千葉	浦安	164877	21	4	17	○
7	千葉	習志野	164530	30	6	23	○
8	栃木	小山	164454	30	4	17	
9	千葉	流山	163984	28	4	18	
10	宮城	石巻	160826	34	4	20	
11	長野	上田	159597	30	3	26	
12	埼玉	新座	158777	26	6	24	
13	茨城	ひたちなか	157060	25	2	10	
14	兵庫	川西	156423	26	3	17	○
15	埼玉	狭山	155727	22	3	16	○
16	千葉	野田	155491	28	3	14	○
17	栃木	足利	154530	24	2	10	
18	埼玉	久喜	154310	34	5	25	○
19	東京	東村山	153557	25	3	22	○
20	岐阜	大垣	161160	24	1	11	
平均				28		64%	

- ★ 人口15万人以上17万人以下の都市は20都市あります。
- ★ 一般質問の他、代表質問・総括質問・議案質疑の時間を設けている都市が9都市あります。
- ★ 大垣市を除く都市では議員の64%が質問に立っています。

議会での発言は議員を成長させます。質問のための市民の声の把握やその問題での調査・研究は欠かせません。回答に立つ行政の側も同様です。議会・行政が質問を通じてその問題を見直し、緊張感を持って深めていくことができず、誠実に議員の役割を果たす中でより優れた議員に成長していく

ことを市民は期待します。議員が少なければ、財政的にはゆとりができるでしょう。しかし、議員の席に安住することは、議会の停滞・市政のマンネリ化が避けられません。自民クラブの定数削減提案は、議会改革の名に値しない、党略的なお手盛りの案としか言えません。